本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市東区平野町5－1	☎大 阪06 (202) 2221
南　支　社	〒557	大阪市西成区玉出東2－9－41	☎大 阪06 (652) 0001
北　支　社	〒532	大阪市淀川区十三本町3－6－35	☎大 阪06 (301) 1251
堺　支　社	〒590	堺市住吉橋町2－2－19	☎ 堺 0722(38) 1131
北摂支社	〒569	高槻市藤の里町39－6	☎高 槻0726(71) 0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4－11	☎西 宮0798(26) 3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2－3－17	☎河 内0729(62) 1131
京阪支社	〒573	枚方市西三雲町16－17	☎枚 方0720(41) 1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区海生町5－13－10	☎神 戸078(576) 5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸通御池上ル二条殿町358	☎京 都075(231) 8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2－4－1	☎奈 良0742(44) 1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1－1－1	☎和歌山0734(31) 2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4－8	☎姫 路0792(85) 2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町寺家町29－1	☎加古川0794(21) 1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6－57	☎豊 岡0796(23) 2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒張680－1	☎草 津0775(62) 5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12－11	☎彦 根0749(22) 3131
(長浜営業所)	〒526	長浜市宮司元町3－4	☎長 浜0749(62) 7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

大阪ガス

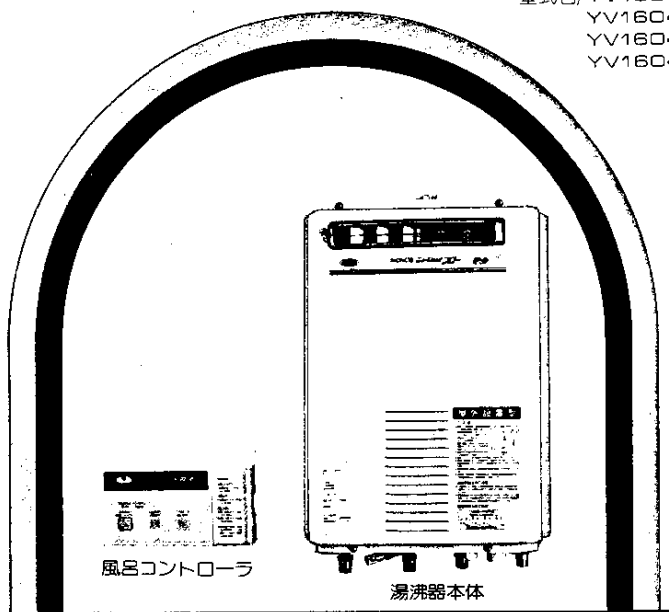
ニュージェットフロー16

取扱説明書

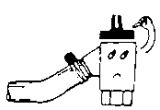
31-950型 31-951型 31-952型 31-953型 31-954型

保証書付

型式名/YV1604R
YV1604RG
YV1604RQ
YV1604RM



ガス器具をご使用になるときのご注意



ガス器具を
ご使用になった
あとは必ず
ガス元せんも
閉める習慣を

ガス器具を
ご使用中は
熱くなります
手をふれないで
ください！

ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

● ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく操作してください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にお問い合せください。

ごあいさつ

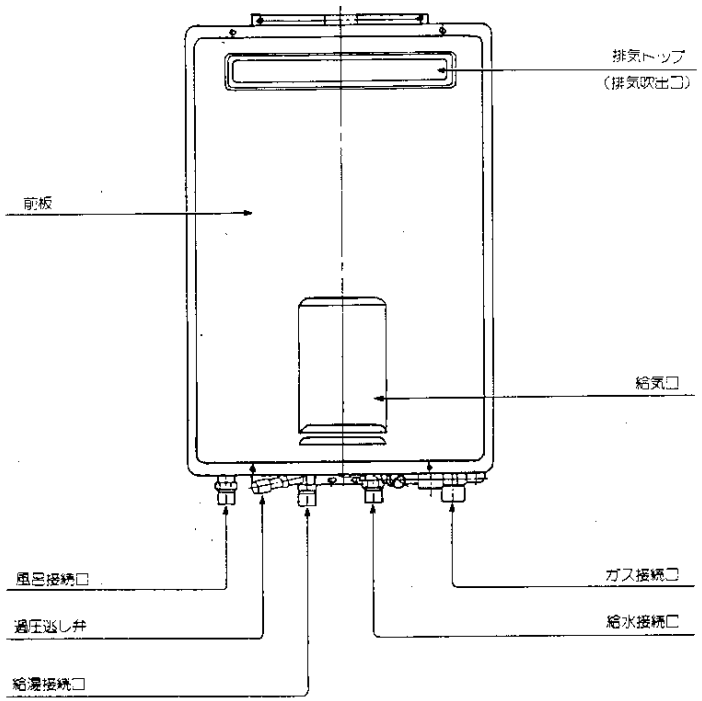
このたびは、大阪ガスの ニュージェットフロー16 を
お求めいただきありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

もくじ

- 各部の名称…… 2
- 特に注意していただきたいこと…… 5
- 器具の設置…… 8
- 使用手順〈風呂コントローラのみでお使いの場合〉…… 8
- 使用手順〈風呂コントローラとメーンコントローラ(別売部品)をお使いの場合〉…… 15
- 冬期の凍結による破損予防について…… 18
- 日常の点検・手入れ…… 20
- 故障・異常の見分け方と処置方法…… 21
- 仕様一覧表…… 25
- アフターサービスのお申し込み…… 26

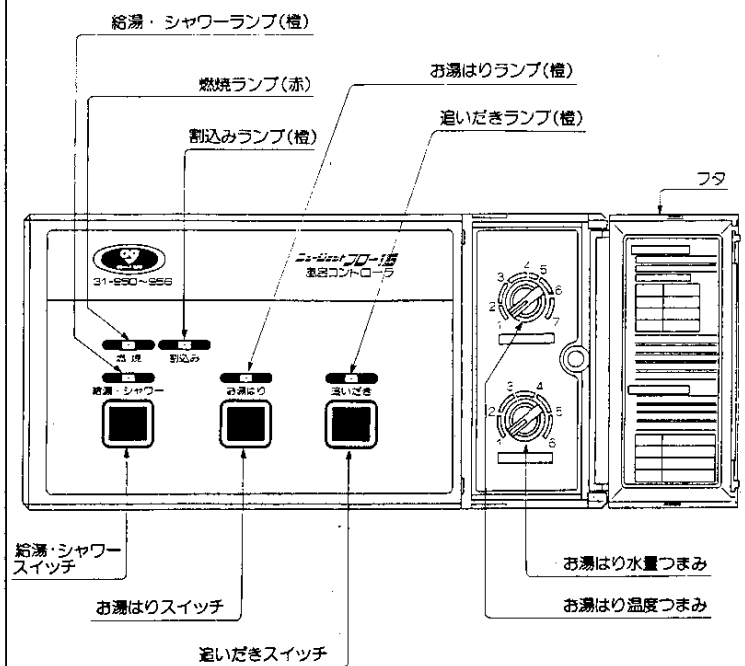
各部の名称

● 器具本体(31-950型)



各部の名称②

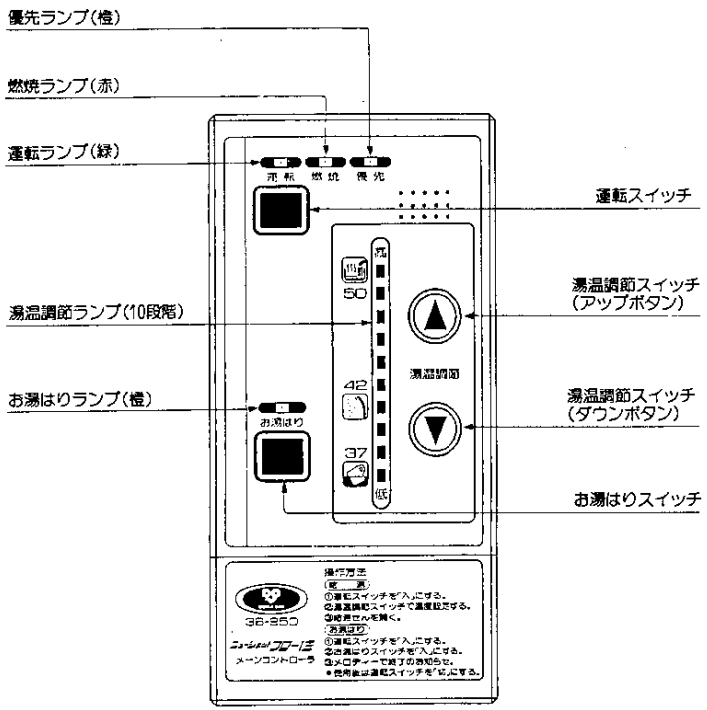
●風呂コントローラ



※ランプが点灯したらスイッチが入っています。再度スイッチを押しますとランプが消灯し、スイッチが切れます。
※風呂コントローラ右側に表示している操作手順を参考にしてください。

各部の名称③

●メーンコントローラ（別売部品）



※メーンコントローラ下部に表示している操作手順を参考にしてください。

特に注意していただきたいこと

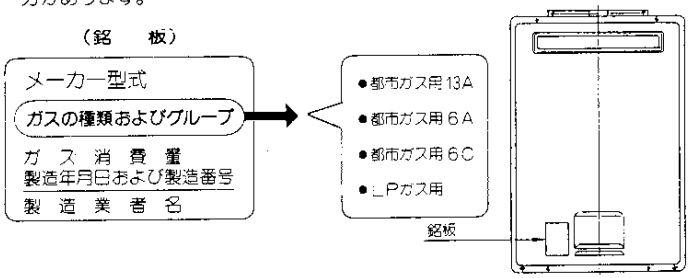
安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

❶湯沸器(銘板)に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

❷銘板は湯沸器正面右下に貼っています。

❸ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。



使用電源についてのご注意

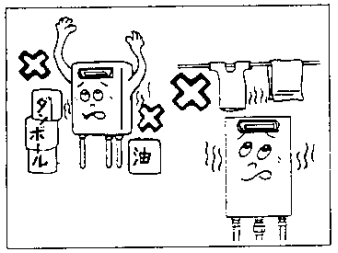
●電源の電圧と周波数をご確認ください。

この湯沸器はAC100V、60Hz用です。 お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかご確認ください。

火災予防

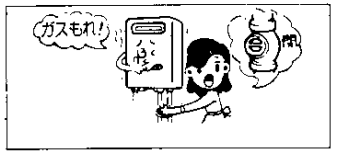
❶器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。特に排気トップは洗たくものなどで、おおわないでください。

❷火をつけたまま就寝や外出は絶対にしないでください。

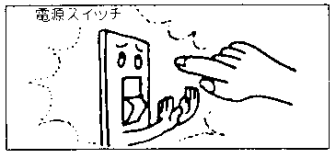


ガス事故防止

❶使用中ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用をやめてガス元せんを閉じ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
〔絶対に使用しないでください〕



❷万一ガスが漏れたときは絶対に火をつけたり、スイッチの「入」「切」や電源プラグの抜き差しなどしないでください。



使用上の注意

1用途について

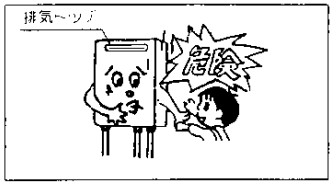
●給湯・シャワー・風呂のお湯はり・追いだき以外の用途には使用しないでください。

2市販の補助用具について

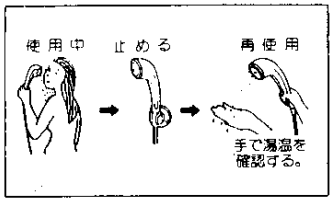
●この器具の付属品か指定のもの以外は使用しないでください。

3やけどの注意

❶使用中および消火直後は、排気トップが高温になっていますので、絶対に手をふれないでください。



❷再使用の場合、一瞬熱いお湯がでることがありますのでご注意ください。特にシャワー使用時は、いきなり身体や頭にかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。



特に注意していただきたいこと③

4飲料用、調理用に使用されるときは、給湯配管内に長時間たまった水を放出した後使用してください。

5雷時のご注意

- 雷による一時的な過電流で電子部品が破損することがありますので雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントより抜いてください。

6健浴剤のご使用について

- 硫黄系の健浴剤は風呂アダプタが腐食する原因となるものがありますので、健浴剤のご注意文をじゅうぶんお読みください。

7給湯せんの同時使用について

- 台所と風呂場などで同時に使用されますと、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中の同時使用はやめてください。
- 風呂のお湯はり(追いだき)使用中に給湯(シャワー)せんを開くと自動的に給湯に切りかわります。

8水圧が下がったとき

- この器具は点火するのに0.15kg/㎠以上の水圧が必要です。ご使用中でも水圧が0.15kg/㎠以下に下がったり、給湯せんを極端に絞りますと、バーナは消火します。

電源について

- この器具には、冬期の凍結による破損予防のために「凍結予防(電気)ヒーター」が内蔵されています。**凍結予防(電気)ヒーターが作動する可能性のある期間中は、緊急の場合以外には、電源プラグを抜かないでください。**

凍結について

- 冬期には、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも寒波のため器具内の水が凍って器具が破損することがあります。
  (凍結予防方法については、18~19ページの「冬期の凍結による破損予防について」を参照してください。

異常時の処置

- 万一、異常な燃焼、臭気、異常音などが感じられたときや、(地震、火災など)緊急の場合は、あわてずにガス元せんを閉じて消火してください。

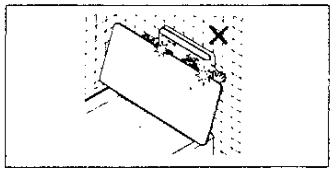
長期間使用しない場合

- **長期間使用しない場合は必ずガス元せん、給水元せんを閉じ、電源プラグを抜いて器具の水抜きを行ってください。**

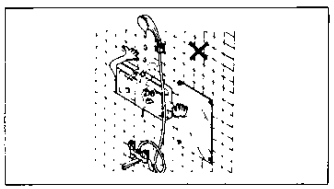
特に注意していただきたいこと④

風呂コントローラについてのご注意

❶浴そうのふたなどを風呂コントローラに当てないでください。



❷風呂コントローラに直接水がかからないように注意してください。



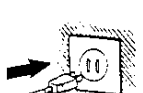
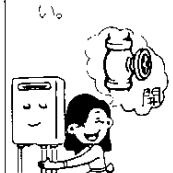
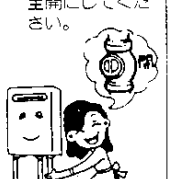
器具の設置

- 器具の設置、移動および付帯工事は、お買い求めの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。(詳しくは工事説明書を参照してください)

使用手順 〈風呂コントローラのみでお使いの場合〉

使用前の準備と確認

- 器具の点火操作をする前に次のことを行なってください。

手順1	手順2	手順3	手順4
・電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。	・給水元せんを全開にしてください。	・給湯せんを開いて水が出ることを確認し給湯せんを閉じてください。	・ガスの元せんを全開にしてください。
			

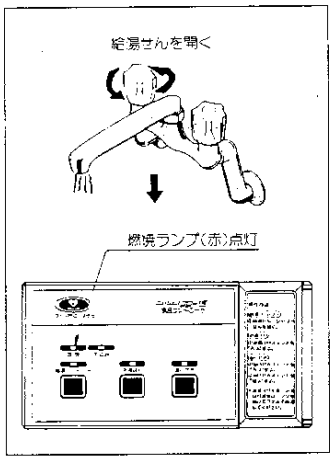
使 用 手 順 ② 〈風呂コントローラのみでお使いの場合〉

給湯・シャワー

1お湯の出し方(点火)

●給湯せんを開きますと、自動的にバーナに着火し、約60℃のお湯が出ます。
(燃焼ランプ(赤)が点灯します。)

(※給湯・シャワースイッチは風呂コントローラのみでお使いの時には操作する必要はありません。)



2湯温調節のしかた

●湯水混合せんで水と混ぜ適温にしてお使いください。

3お湯の止め方(消火)

●給湯せんを閉じますと、お湯は止まり自動的にバーナも消火します。
(燃焼ランプ(赤)が消灯します。)

《ご注意》

❶使いはじめは給湯配管の冷水を追い出すまで、しばらく設定温度のお湯が出ません。

❷初回点火時や長時間使用しなかった後はガス配管中に空気が入っていることがあり、バーナに着火しないときがあります。このときには燃焼ランプが点滅してお知らせしますので、一旦給湯せんを閉じて約5秒間待ち再び給湯せんを開いてください。

❸給湯せんを極端に絞りますと、バーナが消灯し、水に変ることがあります。

❹給湯せんを閉じた後も送風機がしばらくまわっていますが(強回転約1分、弱回転約6分)異常ではありません。

使 用 手 順 ③ 〈風呂コントローラのみでお使いの場合〉

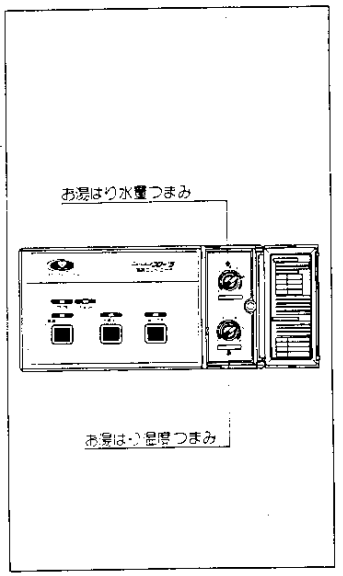
(風呂の)お湯はり

●スイッチひとつで浴そうへ自動的に適温・適量のお湯をはることができます。

1お湯はりの準備

❶浴そうの排水せんをしっかりはめ込んでください。

❷浴そうのフタを閉じてください。



2お湯はり温度調節と水量調節

❶風呂コントローラ右前面のフタを開いてください。

❷お湯はり温度調節つまみを回して、お湯はりの温度を調節してください。
お風呂の適温位置は、3～5の範囲を目安に調節してください。

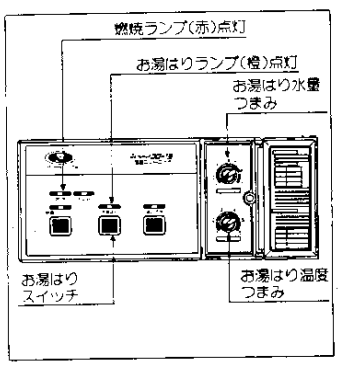
❸お湯はり水量つまみを回して、お湯はりの水量を調節してください。(季節が変っても調節は必要ありません。)
浴そうの大きさにより調節位置が変りますから、3～5の範囲を目安に調節してください。

(お湯はり温度)

目盛	温　度
3	少しぬるい
4	適　温
5	少しあつい

(お湯はり水量)

目盛	浴そう
3	1人用
4	1.5人用
5	2人用



3お湯はり開始(点火)

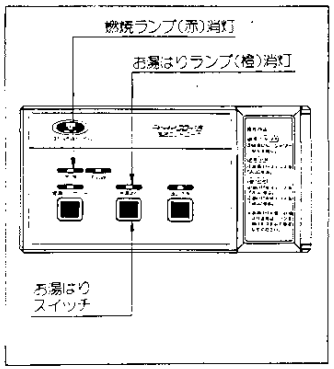
●お湯はりスイッチを入れてください。
器具は自動運転し風呂アダプタからお湯が出てきます。
(お湯はりランプ(橙)、燃焼ランプ(赤)が点灯します。)

使 用 手 順 ④ 〈風呂コントローラのみでお使いの場合〉

4お湯はり停止(消火)

❶お湯はり水量調節で、設定された水量になりますと、お湯はりは自動的に止まります。

❷お湯はりを途中で止めたいときはお湯はりスイッチを切ってください。
(お湯はりランプ(橙)、燃焼ランプ(赤)が消灯します。)



(風呂の)追いだき

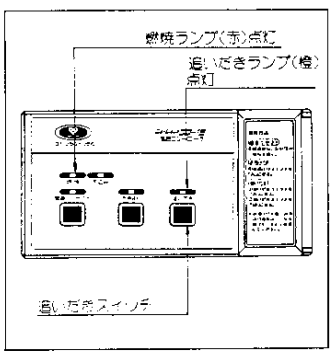
●浴そう内に水が入っていることを必ず確認してください。水がない状態で点火しないでください。

1点火

●風呂コントローラの追いだきスイッチを入れてください。
(追いだきランプ(橙)、燃焼ランプ(赤)が点灯します。)
風呂アダプタから約93℃の高温水が出て追いだきします。

2消火

●適温になりましたら追いだきスイッチを切ってください。
(追いだきランプ(橙)、燃焼ランプ(赤)が消灯します。)



〈ご注意〉

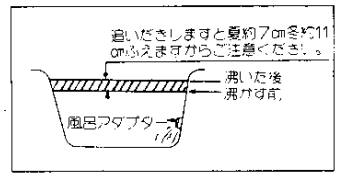
❶お湯はり、追いだき開始時「ポコッ」という音がして配管中の空気が風呂アダプタより1～2秒、出てきますが異常ではありません。

❷お湯はり終了後も送風機がしばらくまわっていますが(強回転約1分、弱回転約6分)異常ではありません。

使 用 手 順 ⑤ 〈風呂コントローラのみでお使いの場合〉

前日の残り湯を沸かすとき

●約93℃の高温水で沸かしますから、浴そうの水位が上がります。右図のように残り湯が多いときは、季節により異なりますが、いつも入浴されている水位より7cm～11cm排水して水位を下げておいてください。

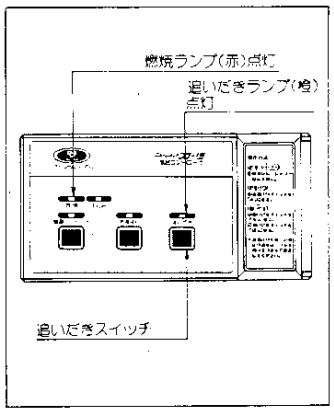


1点火

❶追いだきスイッチを入れてください。
(追いだきランプ(橙)、燃焼ランプ(赤)が点灯します。)
風呂アダプタから高温水が出て追いだきを開始します。

2消火

●適温になりましたら追いだきスイッチを切ってください。
(追いだきランプ(橙)、燃焼ランプ(赤)が消灯します。)



〈ご注意〉

●追いだきを止めたいときは追いだきスイッチを必ず押して、切ってください。

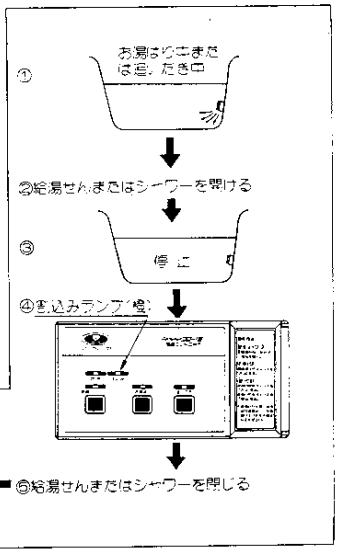
使 用 手 順 ⑥ 〈風呂コントローラのみでお使いの場合〉

お湯はり、追いだき中に給湯を使用するとき

❶お湯はり、追いだき中に給湯せんを開けると、自動的に給湯に切り替ってお湯が出てきます。

❷給湯に切り替わっている間は、お湯はり・追いだきは停止します。
（割込みランプ(橙)が点灯します）

❸給湯せんを閉じると元の使用状態（お湯はりまたは追いだき）に自動的に復帰します。



《ご注意》
❶最初に設定したお湯はりの設定水量は変化しません。
❷お湯はり、追いだき運転に復帰した時「ボコッ」という音がして配管中の空気が出てきますが異常ではありません。

停電時の処置

1 お湯はり・追いだき使用中の停電の場合
❶風呂アダプタから水が流れ放しになりますから給水元せんを閉じてください。
❷通電した時は、給水元せんを開き、8～13ページの「使用手順」にしたがって操作してください。

《ご注意》
● 再使用したときは、お湯はりの水量調節は初めの状態に戻っています。お湯はり水量つまみをそのままの位置で使用されると、お湯があふれたり沸かしすぎになりますので、つまみを調節してください。

使 用 手 順 ⑦ 〈風呂コントローラのみでお使いの場合〉

2 給湯使用中の停電の場合
❶給湯せんを閉じてください。
❷再通電したときは、8～13ページの「使用手順」にしたがって操作してください。

断水時の処置

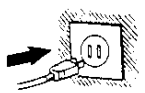
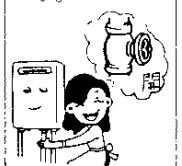
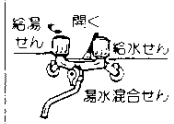
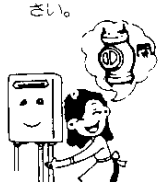
❶断水のときは使用しているすべてのスイッチを切り、給湯使用中のときは給湯せんを閉じてください。
❷通水後は、8～13ページの「使用手順」にしたがって操作してください。

《ご注意》
● お湯はりまたは追いだき使用中に断水したときは、お湯はり水量調節も停止し、初めの状態に戻ります。
お湯はり水量つまみをそのままの位置で使用されるとお湯があふれたり沸かしすぎになりますので、つまみを調節してください。

使 用 手 順 〈風呂コントローラとメーンコントローラ(別売部品)をお使いの場合〉

使用前の準備と確認

●器具の点火操作をする前に次のことを行なってください。

手 順 1	手 順 2	手 順 3	手 順 4
・電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。	・給水元せんを全開にしてください。	・給湯せんを開いて水が出ることを確認し給湯せんを閉じてください。	・ガスの元せんを全開にしてください。
			

手 順 5	・メーンコントローラの運転スイッチを入れてください。(運転ランプ(緑)が点灯します。)

〈風呂コントローラの操作のしかた〉

P9～P14の使用手順にしたがってください。

〈ご注意〉

❶メーンコントローラの運転スイッチが入らないと風呂コントローラをご使用になれません。

❷風呂コントローラの給湯・シャワースイッチを操作される時は、湯水混合せんで水と混ぜてご使用ください。

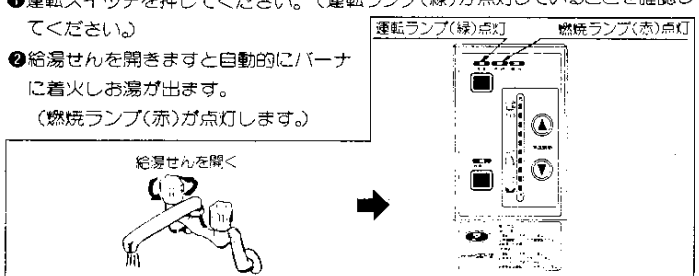
〈メーンコントローラの操作のしかた〉

給湯・シャワー

1 お湯の出し方(点火)

❶運転スイッチを押してください。(運転ランプ(緑)が点灯していることを確認してください。)

❷給湯せんを開きますと自動的にバーナに着火しお湯が出ます。
(燃焼ランプ(赤)が点灯します。)



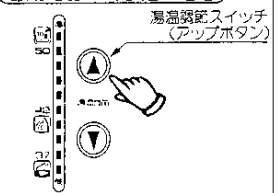
使 用 手 順 ② 〈風呂コントローラとメーンコントローラ(別売部品)をお使いの場合〉

2 湯温調節のしかた

❶メーンコントローラの優先ランプ(橙)が点灯していることを確かめてください。
(点灯していない場合、お使いの風呂コントローラの給湯・シャワースイッチを押して切替えてください。)

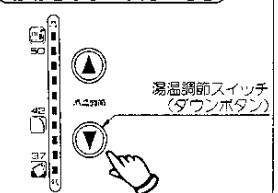
❷メーンコントローラの湯温調節スイッチ(アップボタンまたはダウンボタン)を下記の要領で操作し、10段階の中からお好みの温度にセットしてください。
(約35℃～60℃の間で選ぶことができます。)

お湯をあつくしたいとき



●アップボタンを1回押すごとにひとつずつ高温の温度設定になります。

お湯をぬるくしたいとき



●ダウンボタンを1回押すごとにひとつずつ低温の温度設定になります。

●風呂コントローラの給湯・シャワースイッチを入れると、メーンコントローラの優先ランプ(橙)が消灯し、約60℃のお湯が出ます。湯水混合せんで水と混ぜて適温にしてお使いください。

3 お湯の止め方(消火)

●給湯せんを閉じますとお湯は止まり自動的にバーナも消火します。
(燃焼ランプ(赤)が消灯します。)

〈ご注意〉

❶使いはじめは給湯配管の冷水を追い出すまで、しばらく設定温度のお湯が出ません。

❷初回点火時や長時間使用しなかった後はガス配管中に空気が入っていることがあり、バーナに着火しないときがあります。このときには燃焼ランプが点滅してお知らせしますので、一旦給湯せんを閉じて約5秒間待ち再び給湯せんを開いてください。

❸給湯せんを極端に絞りますと、バーナが消灯し、水に変ることがあります。

❹給湯せんを閉じた後も送風機がしばらくまわっていますが(強回転約1分、弱回転約6分)異常ではありません。

(風呂) お湯はり

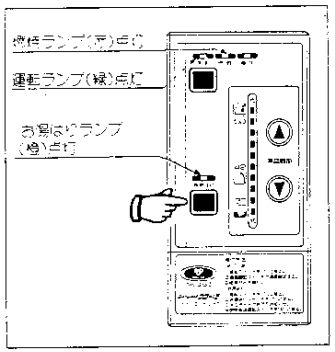
●お湯はり・追いだきは風呂のフタをしたままで行ってください。お湯がさめにくくなります。

1 お湯はりの開始（点火）

❶運転ランプ(緑)が点灯していることを確認してください。

❷風呂コントローラでお湯はり温度調節と水量調節をしておいてください。
（調節方法は10ページを参照してください。）

❸次にお湯はりスイッチを入れてください。
器具は自動運転し、風呂アダプタからお湯が出てきます。
（お湯はりランプ(橙)、燃焼ランプ(赤)が点灯します。）

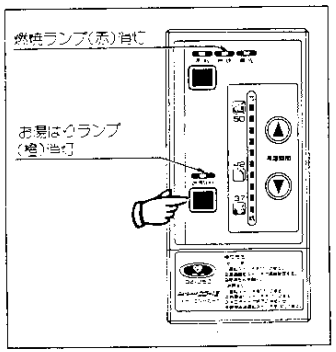


●お湯はりは風呂コントローラでもできます。

2 お湯はりの停止（消火）

❶お湯はり水量調節で、設定された水量になりますとお湯はりは自動的に止まりメロディーで終了をお知らせします。
（お湯はりランプ(橙)、燃焼ランプ(赤)が消灯します。）

❷お湯はりを途中で止めたいときはお湯はりスイッチを切ってください。



〈ご注意〉

❶お湯はり・追いだき開始時「ボコッ」という音がして配管中の空気が風呂アダプタより1～2秒出てきますが、異常ではありません。

❷お湯はり終了後も送風機がしばらくまわっていますが（強回転約1分、弱回転約6分）異常ではありません。

冬期の凍結による破損予防について

❶凍結すると器具や配管が破損し高額の修理費がかかる場合があります。凍結による修理は有料となっております。

❷凍結したまま使用されますと器具に異常が生じる場合があります。凍結がとけた後、各部分の作動を確認の上、ご使用ください。

凍結予防方法について

1 凍結予防(電気)ヒーターによる方法

●この器具には、気温が下ってくると自動的に器具内を保温する凍結予防ヒーターを組込んでいます。

〈ご注意〉

●凍結予防ヒーターは電源プラグを抜くと作動しません。他の凍結予防処置を行うとき、または緊急の時以外は電源プラグを抜かないでください。

●凍結予防ヒーターは凍結を予防するもので外気温が極端に低くなる恐れのある場合はこの凍結予防ヒーターだけでは効果ありませんので、次の2、3の方法をおとりください。また浴そうの湯は最後の人の入浴後、必ず完全に排水してください。

2 給湯せんから水を流す方法〈一般的な凍結予防方法〉

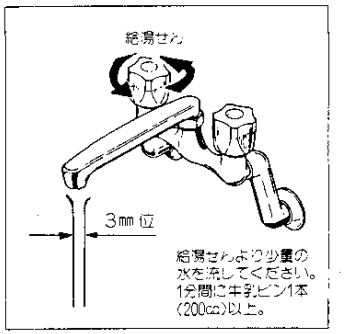
●器具本体だけでなく給水・給湯配管の凍結も予防できます。

❶ガス元せんを閉し、風呂コントローラまたはメーンコントローラの運転スイッチを切ってください。

❷給湯せんより少量の水〔1分間に牛乳びん1本以上（200cc以上）特に寒い日は多めに〕を流してください。

〈ご注意〉

●流量が不安定なことがありますので、約30分後にもう一度流量を確認してください。
浴そう内へは水を流さないでください。



冬期の凍結による破損予防について ②

3器具の水を抜く方法〈入居前や長期不在の場合〉

- この方法は、給水配管の凍結予防はできませんが、凍結による器具破損を予防するのに最もよい方法です。次の操作手順で器具の水を抜いてください。(水受け容器を必ず用意してください。)

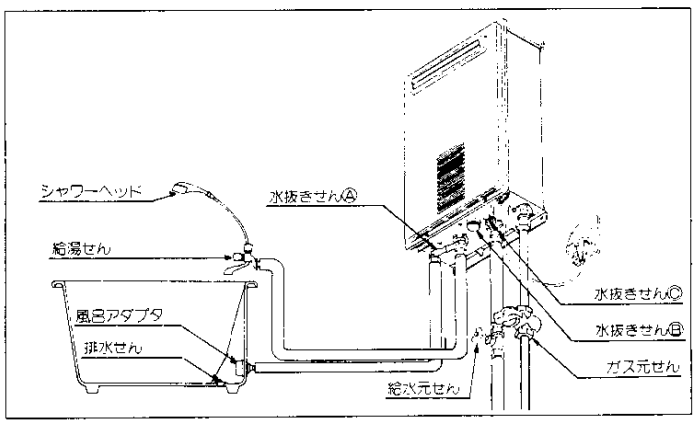
❶電源プラグをコンセントから抜いてください。
❷ガス元せんを閉じてください。
❸給水元せんを閉じてください。
❹すべての給湯せんを開いてください。
❺水抜きせんⒶ、水抜きせんⒷ、水抜きせんⒸを左に回して外してください。

- 次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

- 再度ご使用のときの手順

❶水抜きせんⒶ、水抜きせんⒷ、水抜きせんⒸをしっかりと取り付けてください。
❷給水元せんを開き、給湯せんから水が出るのを確認してください。
❸必ずすべての給湯せんを閉じてから、8～17ページの「使用手順」にしたがってお使いください。

※風呂配管の凍結による破損予防について
外気温度が極端に低くなるおそれのある場合は、浴そうのお湯を最後の人の入浴後に抜いてください。



日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

❶点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、(電源プラグを抜き)器具が冷えてから行ってください。
❷器具は絶対に分解しないでください。

点　検

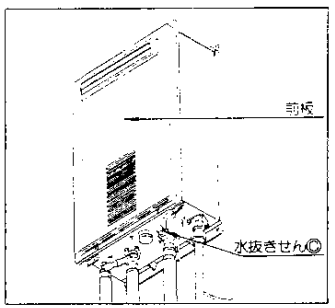
❶器具の上や周囲に燃えやすいものを置いていませんか?
❷排気トップや給気口をふさいでいませんか?(排気トップ、給気口は2ページ各部の名称を参照ください。)
❸器具のご使用に支障がなくても、2～3年に1回ぐらいバーナや各部の作動が"正常"かどうか定期点検をするのが、安全で長期間使用いただくための"ひけつ"です。お買求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

お手入れ

1前板のそうじ

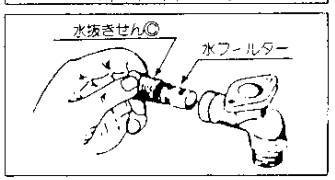
- コントローラおよび器具本体の外装のそうじは、やわらかい布に中性洗剤をひたし軽くふいてください。

《ご注意》
❶洗剤が残らないようにふきとってください。シンナーや、ベンジンなどでふかないでください。(本体の色、表示ステッカーの字が消えます。)
❷コントローラには、故意にお湯や、洗剤などをかけないでください。



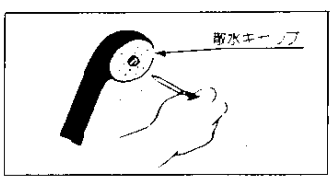
2水フィルターのそうじ

水フィルターに配管内のゴミ、砂がたまりますとお湯が出にくくなります。その場合は給水元せんを閉め、水抜きせんⒸを左に回して水フィルターを引き出してそうじしてください。



3シャワーヘッドのお手入れ

シャワーをお使いになるとき、お湯が出にくくなったり、バーナの炎が消えたりするときは、シャワーヘッドにごみがつまっていることがあります。シャワーの散水キャップを取外してそうじしてください。



故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止してじゅうぶんな点検をお願いします。

現象 / 原因	給湯せんを開いても着火しない、着火しにくい。	使用中に消火した、消火しやすい。	使用中、湯温が極端に変動する。	お湯を止めても消火しない。	燃焼ランプが点滅する。	過いだきスイッチを入れてもお湯が出てこない。	過いだきスイッチを「切」にしてもお湯が止まらない。	お湯はりスイッチを入れてもお湯はりしない。	(給湯栓)または(給湯栓)から湯がでない。	使用中、急にお湯がぬるくなったり、急にお湯になったりする。	処置方法	参照ページ
ガス元せんの開きふじゅうぶん。					○				○		電源を切ってからガス元せんを全開にする。	8〜15
ガス配管内に空気が残っている。					○						ガスが正常に出るまでじゅうぶん注意しながら使用する。	9 16
給水元せんの開きふじゅうぶん。	○	○							○		給湯せんを一たん閉じてから給湯せんを全開にする。	8 15
水圧が適切でない。	○	○	○					○	○		点検、修理を依頼する。(他に原因がないとき)	7
水フィルターのつまり。	○	○	○					○	○		つまり除去又は点検、修理を依頼する。	20
断水している。	○	○									使用を一たん中止する。	14
凍結している。	○										解凍するまで使用を中止する。	18 19
メーンバーナ炎孔づまり給気口づまり、ノズルづまり。	○				○						点検、修理を依頼する。	—
湯温調節が適切でない。									○		「使用方法」参照。	8 17
給湯せんの開き不足。	○	○	○						○		給湯せんを全開にする。	8 15
安全装置が作動。					○						点検、修理を依頼する。	23 24
水ガバナー、水流スイッチの故障。	○			○	○		○			○	点検、修理を依頼する。	—
電気部品の故障。	○			○	○	○	○	○	○		点検、修理を依頼する。	—
停電している。	○	○				○	○			○	「停電時の処置」参照。	13 14

処置や原因がわからないときは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

安全装置の種類とその働き

❶立消え安全装置

万一使用中にバーナの炎が消えたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

❷過熱防止装置

使用中器具本体内の温度が異常に高くなったときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

❸空だき安全装置

熱交換器が異常な温度上昇をしたときはこの安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

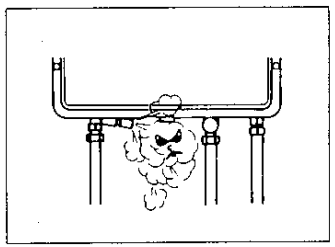
❹過昇温安全装置

この安全装置が作動しても故障ではありません。使用の際に、湯量を極端に絞ったり、水圧が低いときに湯温が過度に上昇することがあるため、過昇温防止装置を設けてあります。湯温が約90℃以上になるとこの装置が働いて、自動的に消火します。

❺過圧防止安全装置

器具の使用停止直後に熱交換器の余熱により、熱交換器内の圧力が高くなり過圧逃し弁が作動して水がポタポタ出ることがありますが、器具の故障ではありません。この様な場合には床面をぬらしますので不都合が生じるときには、過圧逃し弁の排水処理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

《ご注意》
- 空だき安全装置が作動する際には、器具の損傷を防ぐため過圧防止安全装置(過圧逃し弁)が作動し高温の蒸気が噴出しますので、ご注意ください。



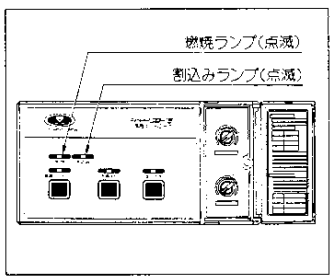
❻凍結予防装置

18〜19ページの「冬期の凍結による破損予防について」の項をごらんください。

■異常報知(警報モニター)について

●風呂コントローラ、メーンコントローラ(別売部品)には、器具本体に不具合が生じた時、各種ランプの点滅によって、不具合の原因を知らせる異常報知（警報モニター）機能が付いていますので、メンテナンスのスピード化に役立ちます。

〈風呂コントローラの場合〉

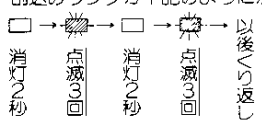


●不具合が発生すると、左図のように燃焼ランプ・割込ランプが点滅しはじめます。

❶割込ランプの 点滅回数 をチェックしてください。
（ 点滅回数 とは消灯2秒間と次の消灯2秒間の間の連続した点滅の回数を指します。）

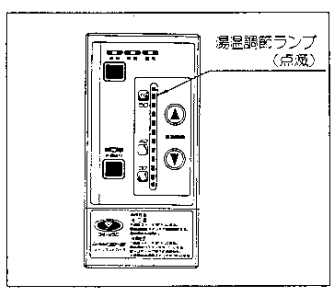
❷次頁下に警報モニターの表示がありますのでチェックした 点滅回数 と一致する内容をさがしてください。

（例）割込みランプが下記のように点滅しているとき、



このようなとき、点滅回数 は3回なので、次頁の警報モニターの表示を見ると、No.3の「ハイリミットSW又は温度ヒューズ作動」が原因であることが判ります。

〈メーンコントローラの場合〉

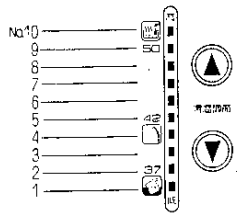


●不具合が発生すると、左図のように湯温調節ランプのどれかが点滅をはじめます。

❶湯温調節ランプの 点滅位置 をチェックしてください。
（ 点滅位置 とは10段階に分れた温度の設定位置を指します。）

❷次頁下に警報モニターの表示がありますのでチェックした 点滅位置 と一致する内容をさがしてください。

（例）



●No.5が点滅していたら、「出湯サーミスタ異常」が原因。

●No.8が点滅していたら、「バーナコントローラ異常」が原因。

●No.1とNo.10が点滅していたらNo.11の「追いだき時に水量センサーOFF」が原因と判ります。

警報モニターの表示

●器具本体前板の裏側に貼付されています。

警報モニター

警報時は、まずハーネス及びハウジングの接続が正常であるか確認してください。
メンテナンス時は、AC100V電源を切ってください。

No.	割込ランプ連続点滅回数（フロコントローラ）	湯温調節ランプ点滅位置（メーンコントローラ）	内容
1	1回	35	バーナ不着火
2	2回	37	バーナ失火
3	3回		ハイリミットSW又は温度ヒューズ作動
4	4回		入水サーミスタ異常
5	5回	42	出湯サーミスタ異常
6	6回		送風機回転数異常
7	7回		給湯側高温検出(90℃以上)
8	8回		バーナコントローラ異常
9	9回	50	切替弁異常
10	10回	60	2心通信不良
11	11回	35 60	追いだき時に水量センサーOFF
12	12回	37 60	風呂アダサーミスタ異常(DX)

（注）上表の湯温調節ランプの点滅位置の配列順は、実際のメーンコントローラの場合と上下逆になっています。

仕様一覧表

品名		ニュージェットフロー16			
商品コード		31-950型、31-951型、31-952型、31-953型、31-954型			
種類	給(出)湯方式	先止め式			
	給排気方式	屋外用			
点火方式		連続スパーク点火・ダイレクト着火			
最低作動水量(ℓ/分)		3.0(作動水圧0.15kg/㎠)			
外形寸法(mm)		高さ510×幅350×奥行150			
重量(本体)(kg)		19			
接続	給水	15A(R1/2)			
	給湯	15A(R1/2)			
	風呂	15A(R1/2)			
	ガス	6C、5A	20A(R3/4)	13A、LP	15A(R1/2)
電気関係	電源(V)	AC100			
	消費電力(W) 60Hz	45(31-953・954型は48)			
		凍結予防ヒーター100			
安全装置		立消え安全装置(フレームロッド方式) 水量センサー、過熱防止装置、空だき安全装置 過昇温安全装置、過圧防止安全装置、漏電遮断器 凍結予防装置(水抜きせん、凍結予防ヒーター)			
付属品	31-950型	●風呂コントローラ ●壁貫通パイプ(S) ●配管継手(S) ●木ねじ(5本) ●フレキシブル管(S) ●風呂アダプタ			
	31-951・952型 953・954型	●風呂コントローラ ●配管継手(S)			
別売部品		●メーンコントローラ ●配管カバー ●低温作動弁セット ●バキューム取付セット ●据置台(S) ●排気カバー ●壁貫通パイプ(S) ●風呂アダプタ			

使用ガスグループ		1時間当りのガス消費量 Kcal/h	出湯能力 ℓ/分 (ガス消費量最大時) 上昇温度	
		最大	25℃	40℃
都市ガス	13A	30,000	(16.0)	10.0
	6A	30,000	(16.0)	10.0
	6C	30,000	(16.0)	10.0
LPガス		2.50kg/h	(16.0)	10.0

備考 ●ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
●上表の出湯能力( )は、湯水混合水せんで混合したとき。

アフターサービス

サービスのお申し込み

❶21～24ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。

❷確認のうえ、それでも不具合がある場合、あるいはご不明な点がある場合ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

① 品名……ニュージェットフロー16

② 大阪ガス商品コード……湯沸器の正面左下に貼付してあります。

(例)

(4)31-950(U)
大阪ガス株式会社 07

③ 現象……できるだけ詳しく

④ 道順……できるだけ詳しく

転居される場合

●ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

●この湯沸器には保証書がついています。

●保証書に記載のように、湯沸器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

●保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

❶無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。

❷補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。
その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。